石垣市女性防火クラブ

沖縄県石垣市女性防火クラブ
クラブ長　玉代勢 光子

私たち石垣市女性防火クラブは、1992年12月に結成され、現在24名で地域の防火・防災意識を高めるために、様々な活動を行っています。特に、女性の視点から地域の安全を守ることを目的とし、地域住民との連携を大切にしています。

活動内容としては、定期的な防火教育や火災予防週間での防火パレードを実施し、チラシ配布や広報活動を通し、地域の皆様に防火の重要性を伝えています。また、幼稚園や小学校での防火教室を通じて、子どもたちにも防火意識を育む取り組みを行っています。これにより、次世代の防火リーダーを育成し、地域全体の安全を確保することを目指しています。

さらに、老健施設等も訪問し、舞踊やお芝居を通しての防火指導も行なっており、県・市の防災訓練等も積極的に参加し、防火意識の向上に努めています。

私たちの活動は、地域の皆様の協力によって成り立っています。今後も、石垣市の安全な暮らしを守るために、女性ならではの視点で活動を続けてまいります。また、地域の皆様と共に、安全・安心な石垣市を築いていくために、一層の努力を重ねていく所存です。どうぞご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

三郷市丹後上町会自主防災会

埼玉県三郷市丹後上町会自主防災会
会長　今野 和夫

丹後上町会自主防災会は埼玉県三郷市の北部にあり、会員数約700世帯で、自主防災役員は町会の理事・班長等計90名が兼ねています。地震・水害が心配な地域で、ご家庭向けに今年新たに取り組んだ防災対策の一端を紹介します。

まず、避難所が同じである隣接のみどり町会と合同訓練を初めて実施しました。訓練では、①地震・風水害で町内住民の「避難」及び「避難所開設時期」の数値化。②避難所の「運営」とHUGを参考にした「避難所レイアウト」の作成。③危険場所を想定した「避難コース」の作成・決定の３つに取り組みました。

次に、自主防災会の改善と実践的訓練を行いました。具体的には、①「自主防災会の組織と運用」の見直し（総会や２回の防災訓練で、ポイントを資料にまとめ、住民に配布）。②避難できない要支援者32名、安否確認者32名、支援団（災害時救出に向かう人）100名以上の名簿更新、訓練、支援の実施。③実践的な訓練に向けて防災設備の充実（本年は簡易テント、寝袋、アルファ米等）の３つに取り組みました。

最後に、今後の活動では「住民を巻き込んだ防災訓練」を目標として、避難所運営委員会を中心に避難所の具体的な活動を含む合同訓練を実施します。また、安否確認者、支援団が参加する訓練は毎年実施し、要支援者本人が参加する訓練の実施を目指します。